

**YAMAHA**  
**PORTATONE**

**PSR-180**

**PSR-76**

取扱説明書

# ごあいさつ

このたびはヤマハポータートーンPSR-180/76をお買いもとめいただき、まことにありがとうございます。PSR-180/76のさまざまな機能を十分に活用するために、この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。なお、読み終わった後も、保証書とともに大切に保管して、操作のしかたがわからないときにお読みください。

## PSR-180/76の特長

バラエティ豊かでリアルな100音色（AWMサウンド）

さまざまなリズム / 伴奏スタイル（100種類）

いろいろなジャンルのデモ20曲（デモンストレーション演奏）、その曲でマイナスイオン演奏もOK。

メロディ演奏が自由に楽しめるジャムトラック（コード進行付の伴奏：20パターン）

サウンドエフェクト（効果音）やドラム音色が鳴らせるパッド（PSR-180）

ステレオスピーカーによるダイナミックサウンド（PSR-180）

## 目次

演奏の準備 .....	1
電源の準備 .....	1
ヘッドフォンを使うときは .....	1
譜面立ての取り付け方 .....	1
PSR-180/76各部の名称 .....	2
デモ曲を鳴らしてみましよう（基本的な操作方法の説明） ...	4
基本的な操作方法 .....	4
ボイス（音色）を選んで、演奏してみましよう .....	6
ボイスの選び方 .....	6
パーカッションボイスについて .....	7
いろいろなスタイル（伴奏）で演奏してみましよう .....	8
スタイルの選び方 .....	8
マルチフィンガリングについて .....	10
デモ曲をマイナスイオン演奏してみましよう .....	11
ジャムトラックを使って演奏してみましよう .....	12
ジャムトラックコード進行リスト .....	13
ワンタッチセッティングを活用してみましよう .....	14
パッドを鳴らしてみましよう（PSR-180） .....	15
デモ曲（ソング）楽譜集 .....	16
ワンタッチセッティングリスト .....	26
こんなときは・・・ .....	27
オプション（別売）商品のご紹介 .....	27
PSR-180/76仕様 .....	28

## ご使用になる前に



使わないときは・・・

電源スイッチを切ってください。

電源アダプターを使用した時は、家庭用コンセントから抜いてください。

長い間使わない時は、乾電池を取り出してください。



こんな所には置かないで・・・

ストーブなど暖房器具の近く、直射日光の当たる場所、日中の車の中など、極端に温度が高くなるところ。

湿気の多いところ、ホコリの多いところ。



近くで使わないで・・・

ラジオやテレビの近くで使うと、ラジオやテレビ側で雑音が発生することがあります。十分に離してお使いください。



乱暴に扱わないで・・・

落としたり、物をぶつけたり、パネルや鍵盤やケーブルの上に物を置かないでください。傷がついたり、故障の原因となることがあります。



美しく保つために・・・

汚れは柔らかい布でカラぶきしてください。また汚れのひどい時は、少し水で湿らせた布でふいてください。（アルコールやシンナー類は、絶対に使わないでください。）

ビニール製品を上には置かないでください。貼り付いてしまうことがあります。

不適切な使用による故障につきましては、保証いたしかねる場合がございます。

## 音楽を楽しむエチケット

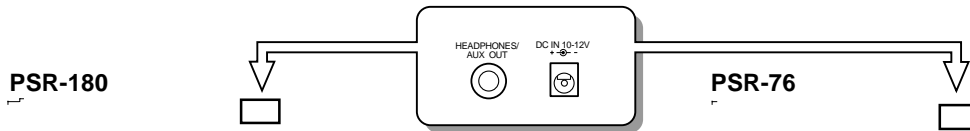


これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

楽しい音楽も時と場所によってはたいへん気になるものです。隣近所への配慮を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。適度な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

ヘッドフォンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

# 演奏の準備



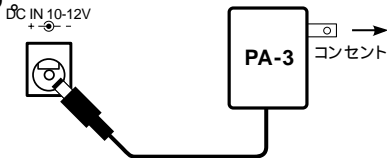
このイラストはPDF上では表示されません。

## 電源の準備

PSR-180/76は電源として、家庭用コンセントと乾電池の両方を使うことができます。

家庭用コンセントから電源をとるときは  
付属の電源アダプターPA-3をご使用ください。

- 1 アダプターのプラグをリアパネルの電源アダプター端子 (DC IN 10-12V端子)へさし込みます。
- 2 アダプターを家庭用 (AC100V) コンセントにさし込みます。

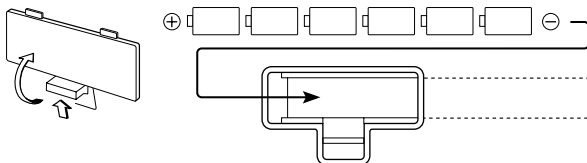


注意

電源アダプターをご使用になる場合は、必ず付属の専用アダプターPA-3をご使用ください。他の電源アダプター使用による障害は、保証期間内でも保証いたしかねる場合がございますので、充分にご注意ください。

## 乾電池を使うときは

- 1 PSR-180/76を柔らかい布などの上で裏返し、電池ボタンをはずします。
- 2 市販の乾電池 (単1乾電池) を6本入れます。イラストに合わせて、向きを間違えないように入れてください。
- 3 電池ボタンを閉めます。



注意

乾電池は早めにおとりかえいただくことをおすすめします。電池が少なくなると、音が小さくなったり、音が歪んだり、音が出なくなったりすることがあります。このような場合は、6本とも新しいものと交換してください。危険ですので、古い電池と新しい電池、種類の異なる電池 (たとえば、アルカリとマンガンなど)、異なるメーカーの電池を混ぜて使用しないでください。なお、乾電池をお買い求めの際は『単1乾電池6本』とご指定ください。



メモ

乾電池が入っていても、電源アダプターが接続されると、自動的に電源アダプターから電源が供給されるようになります。

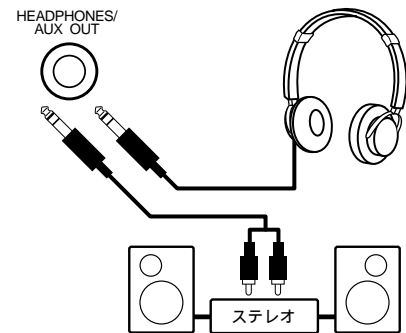
電源を入れたまま約30分間何の操作もしないと、自動的に電源が切れます。(オートパワーオフ機能)

## ヘッドフォンを使うときは

(ヘッドフォン/外部出力端子について)

一人で静かに練習する時や、夜間に演奏する時は、ヘッドフォン (ヤマハ HPE-3/150 [別売] など) のプラグをリアパネルのヘッドフォン/外部出力端子 (HEADPHONES/AUX OUT端子) に接続してご利用ください。接続すると自動的にPSR-180/76のスピーカーから音が出なくなります。

また、この端子は音声信号を出力する端子も兼ねていますので、ステレオ、ラジオカセットなどの入力端子と接続すれば、PSR-180/76の演奏をそれらの機器で鳴らすことができます。(ステレオフォン→ピンプラグをご使用ください。)



メモ

ヘッドフォンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

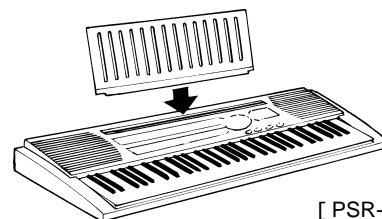


注意

再生するスピーカーなどの損傷を防ぐため、外部機器との接続は、外部機器の音量を最小にしてからおこなってください。

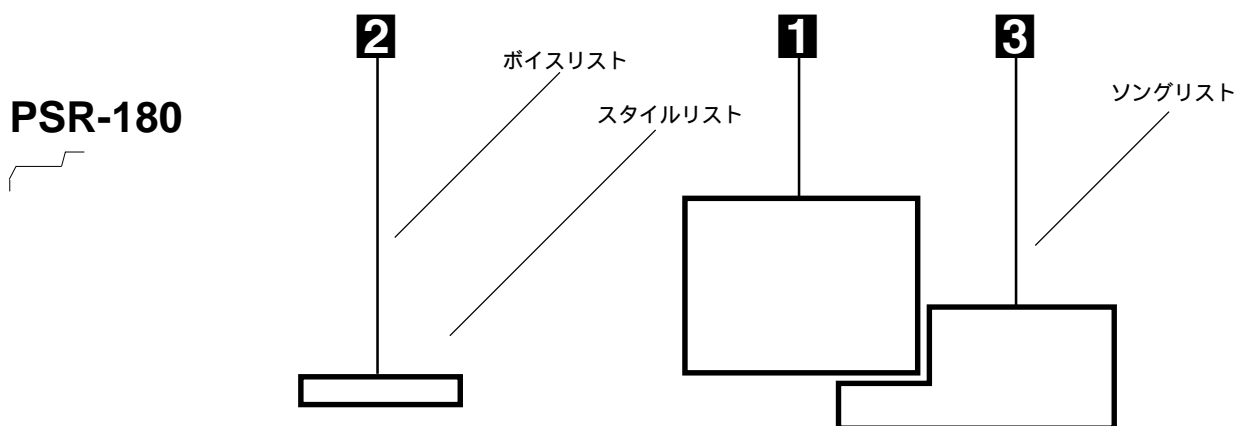
## 譜面立ての取り付け方

楽譜を見ながら演奏するときは、譜面立てを利用すると便利です。譜面立ての下の部分をPSR-180/76のパネル上のスロットに差し込んでください。



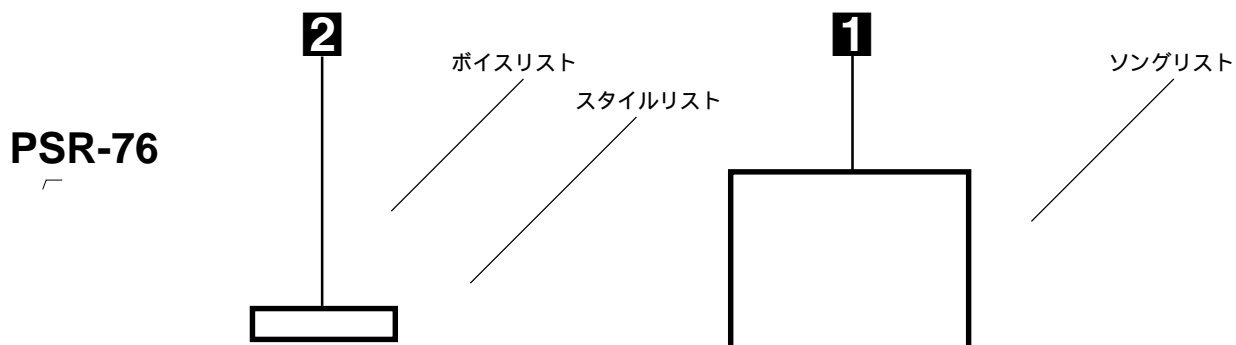
[ PSR-180の場合 ]

# PSR-180/76各部の名称



このイラストはPDF上では表示されません。

自動伴奏用鍵盤 (C1 ~ F#2)

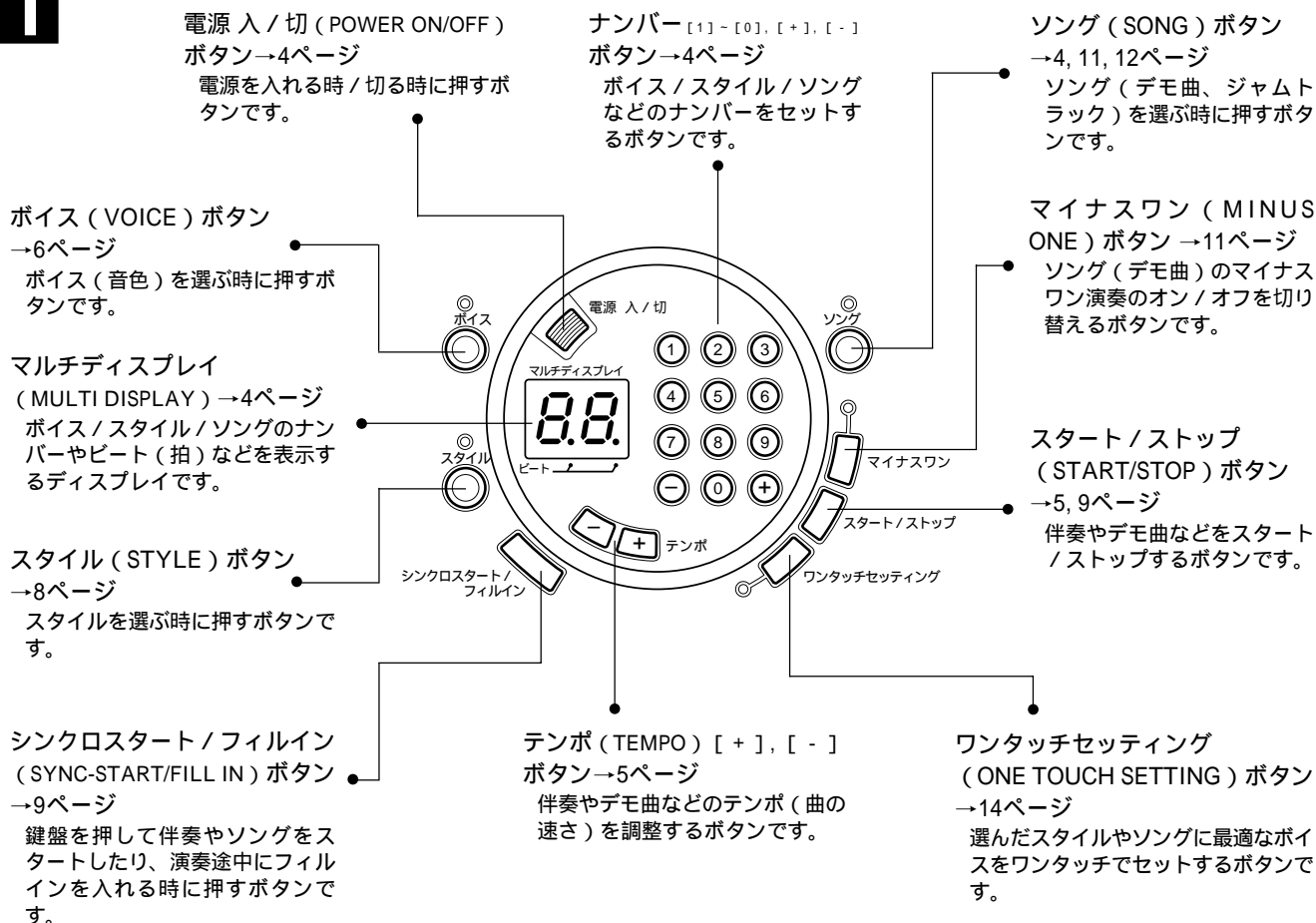


このイラストはPDF上では表示されません。

自動伴奏用鍵盤 (C1 ~ F#2)

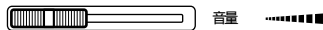
PSR-180の本体パネルは英文で表記されていますが、この取扱説明書は和文で表記/説明いたしますので、付属の和文シートをパネルにセットしてご利用ください。

# 1



# 2

## PSR-180



音量

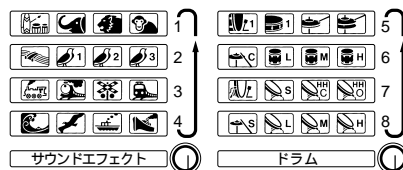
## PSR-76



音量

**音量 (VOLUME) コントロール**  
→5ページ  
PSR-180/76の音量を調整します。

# 3 PSR-180



**4パッド**→15ページ  
サウンドエフェクト (効果音) やドラム/パーカッション (打楽器) 音色を鳴らすパッドです。

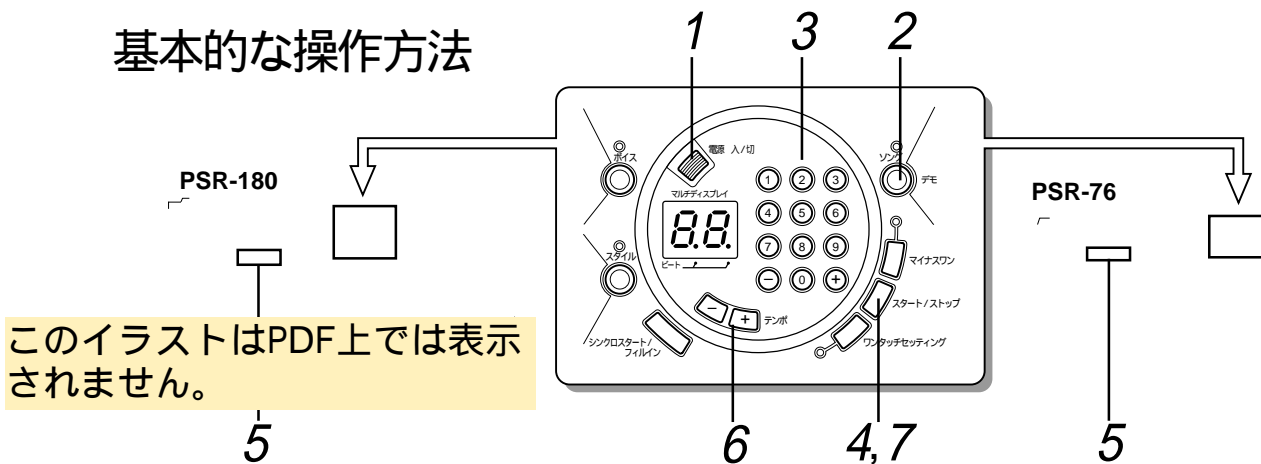
**サウンドエフェクト (SOUND EFFECT) ボタン**→15ページ  
パッドのサウンドエフェクトを切り替えるボタンです。

**ドラム (DRUM) ボタン**  
→15ページ  
パッドのドラム音色を切り替えるボタンです。

# デモ曲を鳴らしてみましょ(基本的な操作方法)

PSR-180/76はボイス/スタイル/ソングボタンとナンバー[1]~[0], [+], [-]ボタン、テンポ[+], [-]ボタン、スタート/ストップボタン、ボリュームコントロールをつかって基本的な操作をおこないます。まずデモ曲(ソング)を鳴らしながら、この操作を覚えましょう。

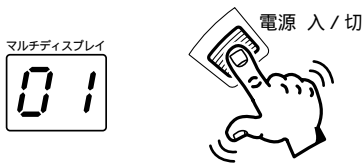
## 基本的な操作方法



1

### 電源を入れます。

電源入/切ボタンを押して、電源を入れます。電源が入ると、ボイスランプが点灯し、マルチディスプレイにボイスナンバー01が表示されます。



PSR-180/76には3つのモードがあります。ボイス/スタイル/ソングボタンを押してランプを点灯させると、モードを選ぶことができます。

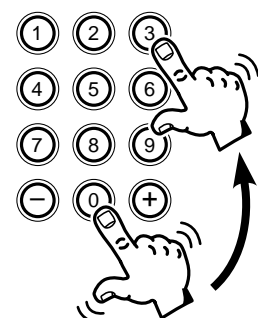
- ボイスボタン ..... 鍵盤で演奏する音色を選ぶとき
- スタイルボタン ... 伴奏のリズムスタイルを選ぶとき
- ソングボタン ..... デモ曲/マイナスイオン演奏する曲やジャムトラックを選ぶとき

3

### ナンバー[1]~[0], [+], [-]ボタンを使ってソングナンバーを選びます。

ナンバー[1]~[0]ボタンは、各モード(ボイス/スタイル/ソング)のナンバーを選ぶときに使用します。ナンバーは「10の位」、「1の位」の順番に2つのナンバーボタンを押してください。

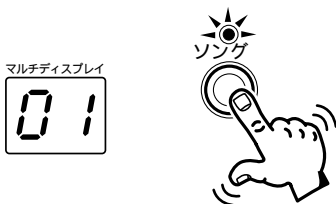
たとえば、ソングモードで「03オリジナルソング3」を選ぶ場合は、[0](10の位)、[3](1の位)の順番でナンバーボタンを押します。



2

### ソングボタンを押して、ランプを点灯させます。

ソングボタンを押してソングランプを点灯させると、ソングモードになります。マルチディスプレイには、選ばれているソングナンバーが表示されます。

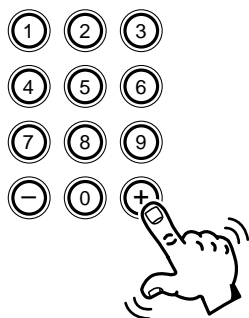


メモ

電源を入れた時、ソングナンバーは01が選ばれています。

[ + ], [ - ] ボタンを押してナンバーを変えることもできます。[ + ] ボタンを一度押すとひとつ大きなナンバーに変わり、[ - ] ボタンを一度押すとひとつ小さなナンバーに変わります。押し続けると、ナンバーは連続で増減します。

たとえば、ボイスナンバー00を選んだ後に [ + ] ボタンを一度押すと、ボイスナンバー01に変わります。



### ナンバーのキャンセル (取り消し)

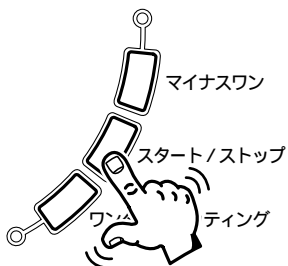
10の位のナンバーボタンを押した後、10秒間何の操作もしないと、10の位のナンバーは自動的にキャンセルされます。また、10の位のナンバーボタンを押した後、ナンバー [ 1 ] ~ [ 0 ] ボタン以外のボタンを押しても、キャンセルされます。



ワンタッチセッティングランプが点灯している時にソングを選ぶと、そのソングのメロディに使われているボイスが自動的に選ばれます。(14ページ参照)

## 4 デモ曲をスタートします。

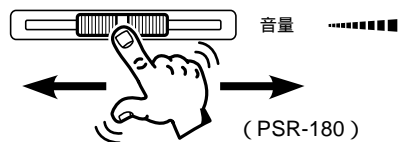
スタート/ストップボタンを押すとデモ曲が始まり、ソングナンバーの順番に次々とデモ曲が演奏されます。(ソングナンバー「20トロイカ」の演奏が終了すると、ソングナンバー「01オリジナルソング1」の演奏が始まります。)



デモ曲をスタートさせると、選ばれていたスタイルは、そのデモ曲で使用されているスタイルに変更されます。(8ページ「スタイルの選び方」参照)

## 5 音量を調整します。

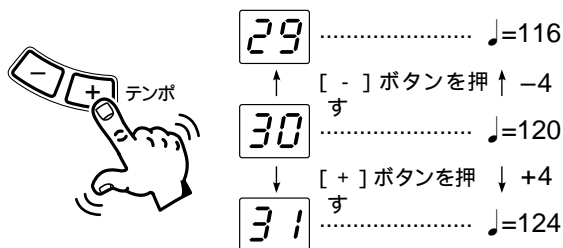
音量コントロールを左方向に動かすと音量が小さくなり、右方向に動かすと音量が大きくなります。



## 6 テンポを調整します。

テンポ [ + ], [ - ] ボタンのどちらかを押すと、マルチディスプレイに選ばれているテンポが表示されます。テンポ [ + ] ボタンを押すとテンポが速く、[ - ] ボタンを押すとテンポが遅くなり、[ + ], [ - ] ボタンを同時に押すと標準テンポ (各デモ曲の最適なテンポ) に戻ります。[ + ]、または [ - ] ボタンを押し続けると、ディスプレイのテンポ表示が連続で増減します。なお、設定範囲は♩=40~240ですが、マルチディスプレイの表示は実際のテンポの数値の1/4 (10~60) となり、[ + ], [ - ] ボタンを押してディスプレイの数値が1ずつ増減すると、実際のテンポの数値は「4」ずつ増減します。

ディスプレイ表示      実際のテンポ

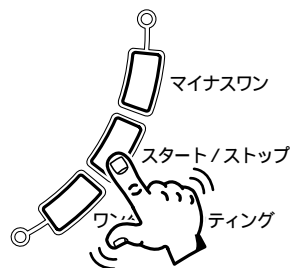


デモ曲を選ぶと、そのデモ曲に適した標準テンポが自動的に設定されます。

テンポ [ + ], [ - ] ボタンを押した後、約2秒間何の操作もしないと、マルチディスプレイは自動的にボイスナンバー/スタイルナンバー/ソングナンバー表示のいずれかに戻ります。

## 7 デモ曲をストップします。

スタート/ストップボタンを押すと、デモ曲の演奏が止まります。



# ボイス（音色）を選んで、演奏してみましょう

PSR-180/76には、先進のAWM（アドバンスド・ウェーブ・メモリー）音源を利用した高品質な100種類のボイスがはいっています。100音色の中には以下のような効果がついた音色もあります。

パーカッションボイス（40/00） 鍵盤を弾いて、いろいろなパーカッションサウンドが楽しめます。パーカッションリストは7ページを参照してください。

デュアルボイス（41～56） ..... 鍵盤を弾くと2つのボイスが重なって鳴ります。

スプリットボイス（57～67） ..... C3より右の鍵盤で一つのボイス、B2より左の鍵盤でもう一つのボイスが演奏できます。



サステインボイス（68～72） ..... サステイン（余韻効果）がかかったボイスです。

ハーモニーボイス（73～85） ..... 演奏した音に加え、1～3音のハーモニー音が自動的に付きます。

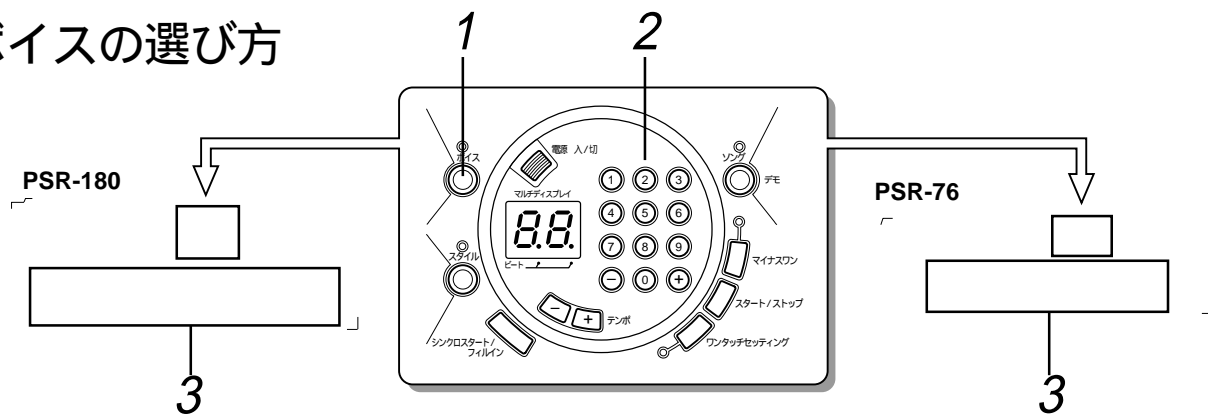
エコーボイス（86～00） ..... エコー（こだま効果）がかかったボイスです。



ハーモニーボイスで演奏できるのは1音だけです。複数の鍵盤を押さえると、いちばん最後に押さえられた音に対してハーモニー音が付けられます。また、スタイル、ソング/ジャムトラックを演奏していない時は、Cコードを基本としたハーモニー音が付けられ、スタイル演奏中、ストップアカンパニメント（9ページ参照）演奏中は、押さえられたコード（10ページ参照）を基本としたハーモニー音が付けられます。ソング/ジャムトラック演奏中は、ソング/ジャムトラックのコードを基本としたハーモニー音が付けられます。

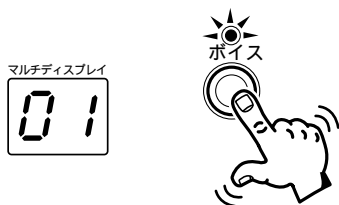
ボイスごとに、最適な音域が鍵盤にセットされています。

## ボイスの選び方



**1** ボイスボタンを押して、ランプを点灯させます。

ボイスボタンを押してボイスランプを点灯させると、ボイスモードになります。マルチディスプレイには、選ばれているボイスナンバーが表示されます。

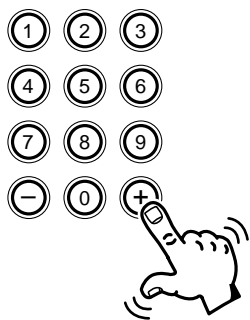


**2** ナンバー[1]～[0], [+], [-]ボタンを使ってボイスナンバーを選びます。

ナンバー[1]～[0]ボタンを使って、ボイスナンバーを選びます。ナンバーは「10の位」、「1の位」の順番に、2つのナンバーボタンを押してください。

[+]、[-]ボタンを押してナンバーを変えることもできます。[+]ボタンを一度押すとひとつ大きなナンバーに変わり、[-]ボタンを一度押すとひとつ小さなナンバーに変わります。押し続けるとナンバーは連続で増減します。





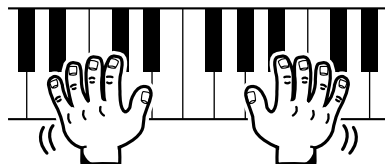
メモ

電源を入れた時、ボイスナンバーは01が選ばれています。

### 3

#### 演奏してみましょう。

好みのボイスを選んだら、演奏してみましょう。また、2の手順を繰り返して、いろいろなボイスで演奏してみましょう。



メモ

PSR-180/76の最大同時発音数は12です。デュアル/スプリットボイスなどは、演奏すると2つのボイスが同時に発音されるため、最大同時発音数が少なくなります。また、同時発音数にはスタイルやソングなどの発音も含まれるため、鍵盤演奏とスタイルやソング演奏などを同時におこない、最大同時発音数を越えると、ある音が途中で消えたり鳴らなかつたりすることがあります。ボイスランプの点灯中に、スタート/ストップボタンを押すと、選ばれているスタイルのリズムだけが演奏されます。

## パーカッションボイスについて

ボイスナンバー40/00のパーカッションを選ぶと、鍵盤を弾いてパーカッションボイスが演奏できます。各鍵盤にセットされているドラム/パーカッションの音色は下記のリストを参照してください。

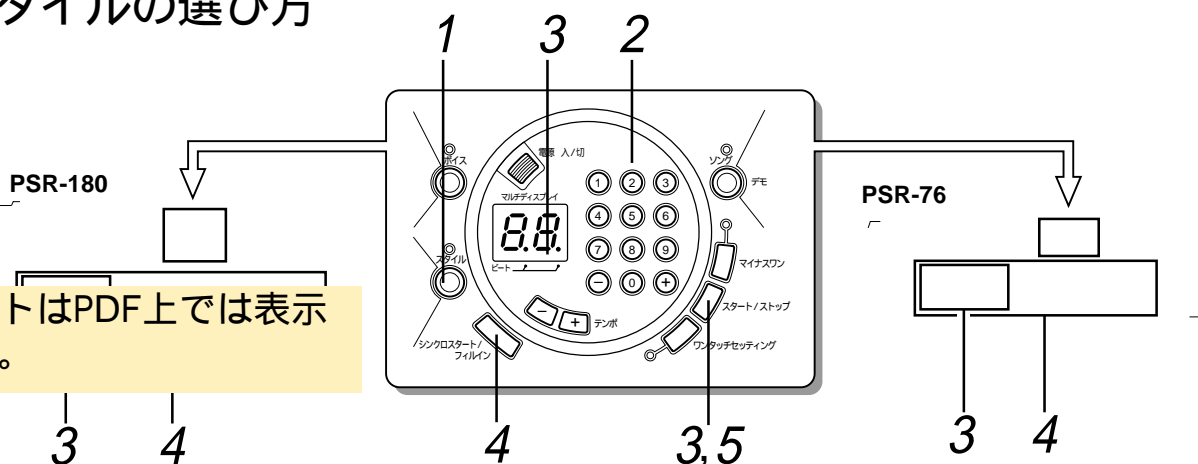
C1	D1	E1	F1	G1	A1	B1	C2	D2	E2	F2	G2	A2	B2	C3	D3	E3	F3	G3	A3	B3	C4	D4	E4	F4	G4	A4	B4	C5	D5	E5	F5	G5	A5	B5	C6																
																スネアドラム1	ハイハットペダル	クラッシュシンバル	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット
																リムショット	ハイハットクロー	クラッシュシンバル	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	シンセハイハット	
																バスドラム1	バスドラム2	スネアドラム2	スネアドラム3	タムベース	タムロー	タムニッド	タムハイ	スプラッシュシンバル	シンセバスドラム	シンセスネアドラム	シンセタムベース	シンセタムロー	シンセタムニッド	シンセタムハイ	スプラッシュシンバル	シンセバスドラム	シンセスネアドラム	シンセタムベース	シンセタムロー	シンセタムニッド	シンセタムハイ	スプラッシュシンバル	シンセバスドラム	シンセスネアドラム	シンセタムベース	シンセタムロー	シンセタムニッド	シンセタムハイ	スプラッシュシンバル	シンセバスドラム	シンセスネアドラム	シンセタムベース	シンセタムロー	シンセタムニッド	シンセタムハイ
																PSR-76												PSR-180																							

# いろいろなスタイル（伴奏）で演奏してみましょ

PSR-180/76は、100種類のリズム／伴奏のスタイル（自動伴奏機能）を持っています。「自動伴奏機能」とは、鍵盤の下部（PSR-76は鍵盤上部）にプリントされている◀より左の自動伴奏用鍵盤で演奏されたコードに応じて、伴奏（ベース音とコード音）が演奏されるという機能です。

自分の好みのスタイルを選び、自動伴奏機能を使って演奏してみましょう。

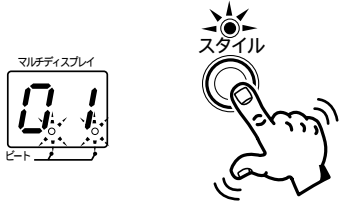
## スタイルの選び方



このイラストはPDF上では表示されません。

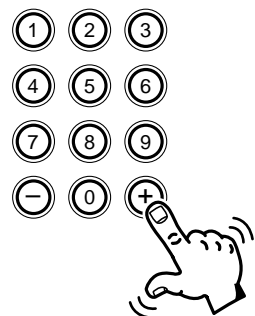
### 1 スタイルボタンを押して、ランプを点灯させます。

スタイルボタンを押して、スタイルランプを点灯させると、スタイルモードになります。マルチディスプレイには、選ばれているスタイルナンバーが表示され、ビートディスプレイの2つのLEDドットが点滅して、シンクロナスタート待機状態になります。



**メモ** シンクロナスタート待機状態で、シンクロナスタート／フィルインボタンを押すと、シンクロナスタート待機状態は解除されます。

[ + ], [ - ] ボタンを押してナンバーを変えることもできます。[ + ] ボタンを一度押すとひとつ大きなナンバーに変わり、[ - ] ボタンを一度押すとひとつ小さなナンバーに変わります。押し続けると連続でナンバーが増減します。



**メモ** 電源を入れた時、スタイルナンバーは01が選ばれています。

### 2 ナンバー [ 1 ] ~ [ 0 ], [ + ], [ - ] ボタンを使ってスタイルナンバーを選びます。

ナンバー [ 1 ] ~ [ 0 ] ボタンを使って、スタイルナンバーを選びます。ナンバーは「10の位」、「1の位」の順番に、2つのナンバーボタンを押してください。

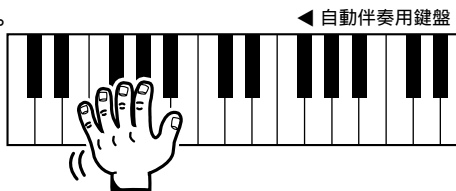
リズムがストップしている時にスタイルを選ぶと、そのスタイルに適した標準テンポが自動的に選ばれますが、リズム演奏中にスタイルを変更してもテンポは変わりません。

ワンタッチセッティングランプが点灯している時にスタイルを選ぶと、そのスタイルに最適なボイスが自動的に選ばれます。（14ページ参照）

# 3

## 自動伴奏をスタートします。

自動伴奏用鍵盤でコードを押さえると、押鍵と同時にリズム / 伴奏がスタートします（シンクロスタート）。押さえたコードと選ばれたスタイルに従って伴奏が演奏されます。



PSR-180/76の自動伴奏は、マルチフィンガリングというコード検出方法で演奏されます。詳細は10ページを参照してください。

スタート / ストップボタンを押して自動伴奏をスタートすることもできます。この場合、まずリズムだけの演奏が始まり、◀より左の自動伴奏用鍵盤でコードを押さえると伴奏がスタートします。押さえたコードと選ばれたスタイルに従って伴奏が演奏されます。



メモ

伴奏の演奏中も、ボイスを変更することができます。ボイスボタンを押してから、ボイスを変更してください。

ボイスランプの点灯中に、スタート / ストップボタンを押すと、選ばれているスタイルのリズムだけが演奏されます。

伴奏の演奏中にスタイルを変更すると、次の小節から新しいスタイルの伴奏が始まります。

スタイルランプの点灯中、伴奏をスタートさせずに（シンクロスタート / フィルインボタンを押すと、シンクロスタート待機状態は解除されます）、自動伴奏用鍵盤でコードを押さえると、すべてのスタイルに共通のベース音とコード音が鳴ります。（ストップアカンパニメント）

伴奏の演奏中にソングボタンを押すと、次の小節から選ばれているデモ曲 / ジャムトラックが演奏されます。

### ビートディスプレイについて

リズム / 伴奏の演奏中は、マルチディスプレイ下部の2つのLEDドットが、設定されたテンポに従って図のように点滅し、ビート（拍）を表示します。（デモ曲 / ジャムトラックの演奏中も同様に点滅します。）



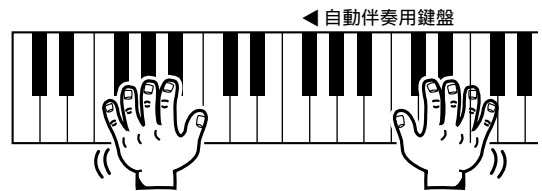
4拍子系 3拍子系

- 1拍目
- 2拍目
- 3拍目
- 4拍目

# 4

## 自動伴奏に合わせてメロディを演奏します。

左手でコードを変えながら、◀より右の鍵盤を使って、伴奏に合わせてメロディを演奏してみましょう。



メモ

5ページの「6.テンポを調整します」を参照して、自分の演奏しやすいテンポに調整しましょう。

### フィルイン

フィルインとは、曲の流れに区切りをつけて、演奏を盛り上げるパターンです。フィルインのパターンはスタイルごとに異なります。

演奏中にシンクロスタート / フィルインボタンを押すと、次の拍からフィルインが演奏されます。



メモ

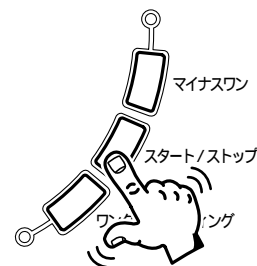
小節内の最終拍以降に、シンクロスタート / フィルインボタンを押すと、次の小節からフィルインが始まります。

シンクロスタート / フィルインボタンを押し続けると、フィルインが繰り返し演奏されます。

# 5

## 自動伴奏をストップします。

スタート / ストップボタンを押すと、簡単なエンディングが演奏された後、伴奏がストップします。



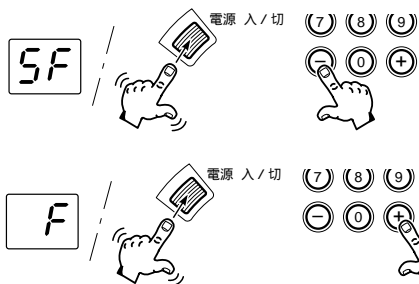
メモ

伴奏がストップすると、ビートディスプレイが点滅して、シンクロスタート待機状態になります。

## マルチフィンガリングについて

鍵盤の◀より左の自動伴奏用鍵盤でのコードの押さえ方は、マルチフィンガリングという方法です。マルチフィンガリングとは、コードをシングルフィンガー（コードの簡単な押さえ方）で押さえても、フィンガード（通常のコードの押さえ方）で押さえても、PSR-180/76がそのコードを自動的に識別するという便利な機能です。

PSR-180/76は、電源を入れると自動的にマルチフィンガリングになりますが、シングルフィンガー、フィンガードいずれかに固定することもできます。



シングルフィンガーに固定するには

電源を切り、[ - ] ボタンを押しながらもう一度電源を入れます。マルチディスプレイに「SF」が表示され、シングルフィンガーに固定されます。

フィンガードに固定するには

電源を切り、[ + ] ボタンを押しながらもう一度電源を入れます。マルチディスプレイに「F」が表示され、フィンガードに固定されます。

一度電源を切って電源を入れ直すとマルチフィンガリングに戻ります。

### シングルフィンガー

自動伴奏用鍵盤で、3本以内の指を使って、メジャー、マイナー、セブンス、マイナーセブンスのコードを演奏することができます。

#### シングルフィンガーのコードの押さえ方



メジャー（M）コード

ルートキー（根音）を押さえてください。



マイナー（m）コード

ルートキーと、ルートキーより左側の黒鍵を同時に押さえてください。



セブンス（7）コード

ルートキーと、ルートキーより左側の白鍵を同時に押さえてください。



マイナーセブンス（m7）コード

ルートキーと、ルートキーより左側の黒鍵と白鍵を同時に押さえてください。



コード押鍵は自動伴奏用鍵盤の範囲内であれば、オクターブに影響されません。たとえば、自動伴奏用鍵盤にあるC1とC2はどちらを押さえても同じ伴奏が演奏されます。

シングルフィンガーモードに固定した場合、自動伴奏用鍵盤はC1～C2に変更されます。



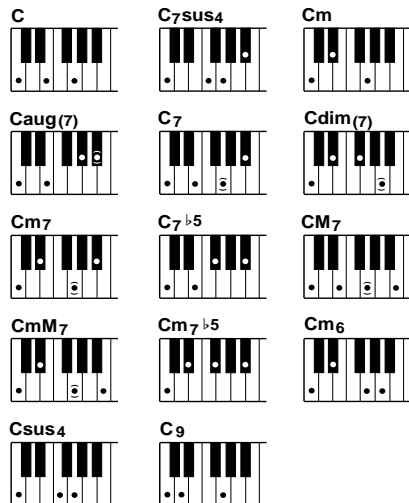
ルートキー（根音）と押さえる鍵盤



### フィンガード

自動伴奏用鍵盤でコードを押さえると、そのコードと選ばれたスタイルに従って伴奏が演奏されます。

#### Cのコードバリエーション



カッコ（ ）内の鍵盤は押さえなくてもかまいません。

コードはすべて基本形で書かれていますが、その転回形も可能です。ただし、以下の場合を例外とします。

- aug、dim(7)は押鍵の最低音を根音とみなします。
- 7b5は押鍵の最低音を根音または7とみなします。
- m6と9は基本形だけを受け付けます。
- aug7はaugとして、dim7はdimとみなします。

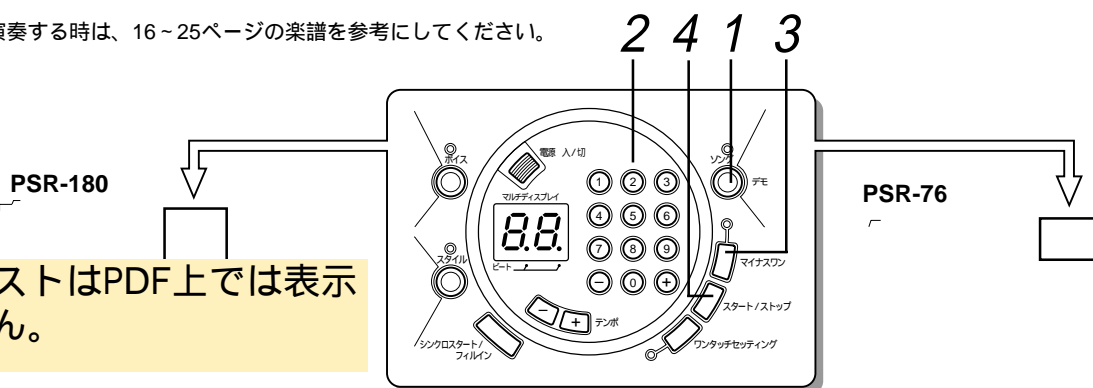
フィンガードに固定した場合、黒鍵を含めて隣り合う3音を押さえると、コード演奏がキャンセルされ、リズムのみの演奏になります。

# デモ曲をマイナスワン演奏してみましょう

PSR-180/76にはバラエティに富んだ20種類のデモ曲（ソング）がはいっています。マイナスワン演奏とはデモ曲のメロディ部分を消して、鍵盤で演奏できる機能のことです。

4ページ「デモ曲を鳴らしてみよう」を参照してデモ曲を聴き、好みのデモ曲を選んでマイナスワン演奏してみましょう。

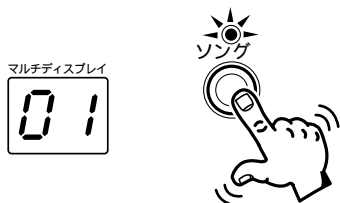
演奏する時は、16～25ページの楽譜を参考にしてください。



このイラストはPDF上では表示されません。

## 1 ソングボタンを押して、ランプを点灯させます。

ソングボタンを押してソングランプを点灯させると、ソングモードになります。マルチディスプレイには、選ばれているソングナンバーが表示されます。



## 3 マイナスワンボタンを押して、ランプを点灯させます。



## 4 マイナスワン演奏をスタート/ストップします。

スタート/ストップボタンを押すと、デモ曲のマイナスワン演奏がスタートします。楽譜を見ながらデモ曲のメロディ部分を演奏してみましょう。

マイナスワン演奏は、選んだ曲を繰り返し演奏します。スタート/ストップボタンを押すと、マイナスワン演奏がストップします。



## 2 ナンバー [1] ~ [0], [+], [-] ボタンを使ってソングナンバーを選びます。

ナンバー [1] ~ [0] ボタンを使って、01～20の中からソングナンバーを選びます。ナンバーは「10の位」、「1の位」の順番に、2つのナンバーボタンを押してください。



### メモ

ジャムトラック（ソングナンバー21～40）に関しては12ページを参照してください。

電源を入れた時、ソングナンバーは01が選ばれています。

### メモ

マイナスワン演奏中に、マイナスワンボタンを押してランプを消灯させると、メロディ部分が演奏されず。

スタート前にシンクロスタート/フィルインボタンを押せば、鍵盤を押さえてマイナスワン演奏をスタートすることができます。（シンクロスタート）

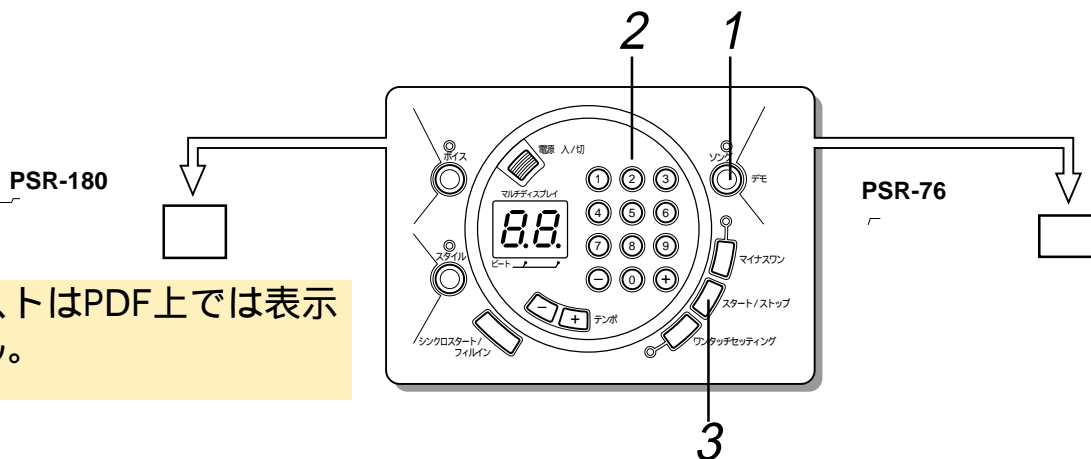
ワンタッチセッティングのランプが点灯している時にデモ曲を選ぶと、その曲のメロディに使われているボイスが自動的に選ばれます。（14ページ参照）スタイル演奏時に、マイナスワンボタンを押すと、リズムとベースだけの演奏になります。

# ジャムトラックを使って演奏してみましょ

PSR-180/76には、20種類のジャムトラックがはっています。ジャムトラックとは、いろいろな音楽スタイルの典型的なコード（和音）進行がプログラムされているものです。

ジャムトラックを鳴らしながら、すべての鍵盤を使ってメロディを演奏することができます。自分の好みのジャムトラックを選び、伴奏に合わせて演奏してみましょ。

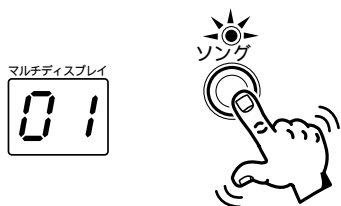
演奏する時は、13ページ「ジャムトラックコード進行リスト」を参考にしてください。



このイラストはPDF上では表示されません。

## 1 ソングボタンを押して、ランプを点灯させます。

ソングボタンを押してソングランプを点灯させると、ソングモードになります。マルチディスプレイには、選ばれているソングナンバーが表示されます。



**メモ** ジャムトラックを選ぶと、そのジャムトラックに適した標準テンポが自動的に選ばれます。  
41以上のジャムトラックナンバーは選べません。

## 3 ジャムトラックをスタート/ストップします。

スタート/ストップボタンを押すと、ジャムトラックの演奏がスタートします。伴奏に合わせて、自由に演奏してみましょ。

ジャムトラックは、同じコードパターンを繰り返し演奏します。

スタート/ストップボタンを押すと、ジャムトラックの演奏がストップします。

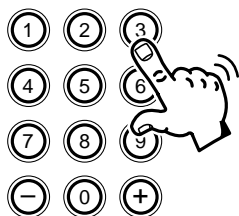


**メモ** ワンタッチセッティングランプが点灯している時にジャムトラックを選ぶと、そのジャムトラックのメロディに最適なボイスが自動的に選ばれます。(14ページ参照)

スタート前にシンクロスタート/フィルインボタンを押せば、鍵盤を押さえてジャムトラックをスタートすることができます。(シンクロスタート)

## 2 ナンバー [1] ~ [0], [+], [-] ボタンを使ってジャムトラックのナンバーを選びます。

ナンバー [1] ~ [0] ボタンを使って、21 ~ 40の中からジャムトラックのナンバーを選びます。ナンバーは「10の位」、「1の位」の順番に、2つのナンバーボタンを押してください。



## ジャムトラックコード進行リスト

### 21 ダンス (♩=120)

Am7	×	Em7	×
Dm7	×	Am7	×

### 22 ラップ (♩=116)

Am7	×	×	×
Am7	×	×	×

### 23 ファンク (♩=92)

C7	F7	C7	F7
----	----	----	----

### 24 ソウルバラード (♩=104)

C	×	×	×
Am	×	×	×
Dm7	×	×	×
G7	×	Gaug	×

### 25 マイナーブルース (♩=144)

Am	×	×	×
Dm	×	Am	×
E	×	Am	×

### 26 ヘビメタル (♩=120)

C	×	B♭	C
---	---	----	---

### 27 ブギウギ (♩=136)

C	×	×	×
F	×	C	×
G	F	C	G

### 28 ロックンロール (♩=144)

C	Am	F	G
---	----	---	---

### 29 リズム&ブルース (♩=136)

C7	F7	G7	F7	C7
----	----	----	----	----

### 30 スローロック (♩=88)

C	Am7	F	G7
---	-----	---	----

### 31 ジャズブルース (♩=160)

C7	F7	C7	×		
F7	×	C7	A7		
Dm7	G7	C7	A7	Dm7	G7

### 32 ジャズワルツ (♩=192)

C7	×	×	×
C7	×	×	×
F7	×	×	×
C7	×	×	×
G7	×	G#7	G7
C7	×	×	×

### 33 フュージョン (♩=128)

Dm7	×	G7	×
-----	---	----	---

### 34 ボサノバ (♩=160)

Em7	E♭7	Dm7	D♭7
-----	-----	-----	-----

### 35 サンバ (♩=112)

C	F	G	×	×	×
---	---	---	---	---	---

### 36 タンゴ (♩=124)

E7	×	Am	×
----	---	----	---

### 37 スカ (♩=160)

Am	×	Dm	×
----	---	----	---

### 38 カントリー (♩=120)

C	F	C	G7	
C	F	C	G7	C

### 39 マーチ (♩=116)

C	×	G7	C
---	---	----	---

### 40 ニューエイジ (♩=84)

C	×	C#	C
---	---	----	---

# ワンタッチセッティングを活用してみましょう

PSR-180/76には、100種類のスタイルと40種類のソングそれぞれに、最も適したボイスがあらかじめ設定されています。ワンタッチセッティングボタンを押せば、ワンタッチでスタイル/ソングに最適なボイスを呼び出すことができ、たいへん便利です。

ワンタッチセッティングで呼び出されるボイス/テンポは、以下のページを参照してください。

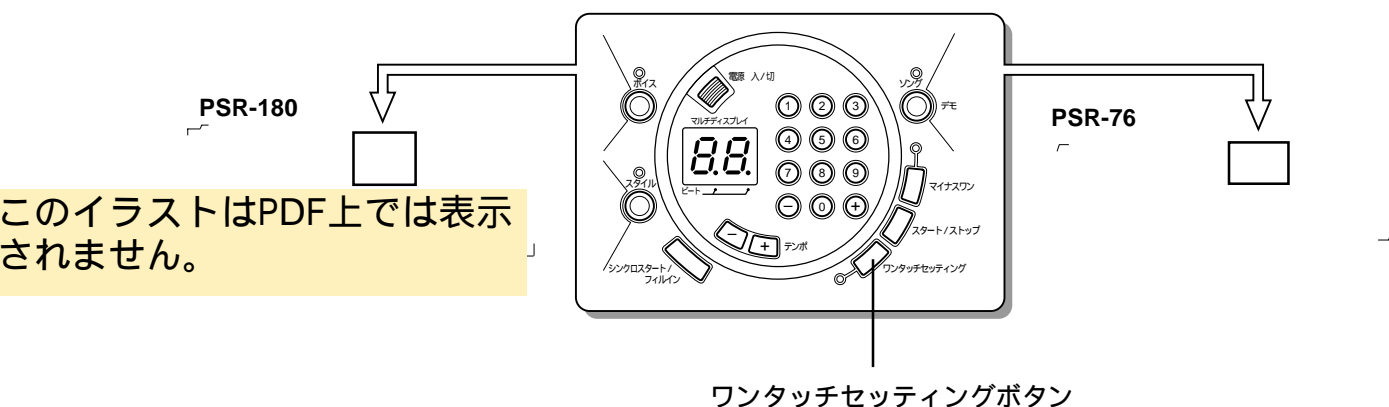
スタイル ..... 26ページ「ワンタッチセッティングリスト」

ソング (01~20: デモ曲) ..... 16ページ「デモ曲楽譜集」

ソング (21~40: ジャムトラック) 26ページ「ワンタッチセッティングリスト」



電源を入れた時、ワンタッチセッティングはオフ (ランプ消灯) に設定されています。

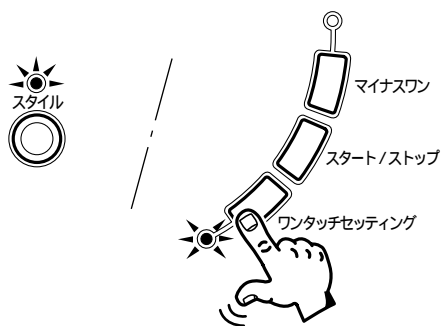


このイラストはPDF上では表示されません。

ワンタッチセッティングボタン

## スタイルモード (スタイルランプ点灯)

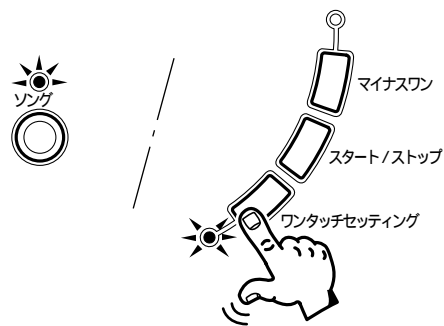
ワンタッチセッティングボタンを押してランプを点灯させると、選ばれているスタイルに最適なボイス、および標準テンポが呼び出されます。(P.26 ワンタッチセッティングリスト参照)



スタイルの演奏中/演奏停止中に問わず、ワンタッチセッティングボタンは有効です。

## ソングモード (ソングランプ点灯)

ワンタッチセッティングボタンを押してランプを点灯させると、選ばれているデモ曲のメロディに使われているボイス、または選ばれているジャムトラックに最適なボイス、および標準テンポが呼び出されます。



デモ曲/ジャムトラックの中には、曲/コード進行に従って途中でボイスが変わるものがあります。

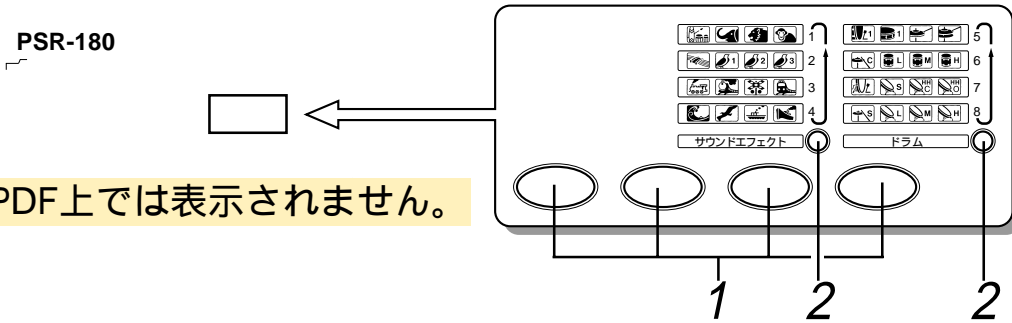
デモ曲/ジャムトラックの演奏中/演奏停止中に問わず、ワンタッチセッティングボタンは有効です。



# パッドを鳴らしてみましょ (PSR-180)

PSR-180には4つのパッドがあります。パッドを使って、サウンドエフェクト (4×4セット = 16種類) やドラム (4×4セット = 16種類) の音色を鳴らしてみましょ。

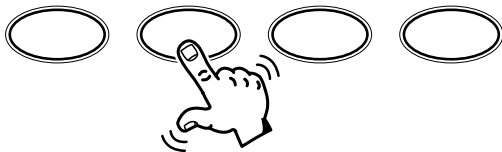
パッドは、いつでも鳴らすことができます。パッドの音色 (セット1~8) を切り替えて、演奏のイントロや間奏にサウンドエフェクトを鳴らしたり、伴奏にドラム音を付け加えて演奏してみましょ。



このイラストはPDF上では表示されません。

## 1 パッドをたたいてみましょ

電源を入れた時は、サウンドエフェクトの「1」(サファリ) が選ばれています。パッドをたたいて、鳴らしてみましょ。



## 2 パッドの音色 (セット) を変更してみましょ

サウンドエフェクトボタン、またはドラムボタンを押すと、選ばれているセットのナンバーがマルチディスプレイに表示されます。

以下の方法で、サウンドエフェクトボタン/ドラムボタンを押してパッドの音色を切り替えてみましょ。

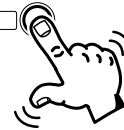
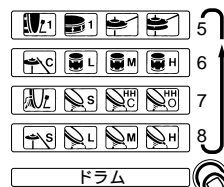
サウンドエフェクト (セット1~4) を鳴らしたい場合



サウンドエフェクトボタンを押すたびに、セットのナンバーが1つずつ増加します。セット4が選ばれている時に、サウンドエフェクトボタンを押すとセット1に戻ります。(1 → 2 → 3 → 4 → 1 → 2 ...)

セットナンバー/ネーム	パッドの音色			
1 サファリ	アフリカンパーカッション	象	ライオン	猿
2 森	小川のせせらぎ	鳥1	鳥2	鳥3
3 鉄道	汽笛	蒸気機関車	踏切	電車
4 海	波音	かもめ	タグボート	霧笛

ドラム (セット5~8) を鳴らしたい場合は...



ドラムボタンを押すたびに、セットのナンバーが1つずつ増加します。セット8が選ばれている時に、ドラムボタンを押すとセット5に戻ります。(5 → 6 → 7 → 8 → 5 → 6 ...)

セットナンバー/ネーム	パッドの音色			
5 アコースティックドラム1	バスドラム1	スネアドラム1	ハイハットクローズ	ハイハットオープン
6 アコースティックドラム2	クラッシュシンバル	タムロー	タムミッド	タムハイ
7 シンセドラム1	シンセバスドラム	シンセスネアドラム	シンセハイハットクローズ	シンセハイハットオープン
8 シンセドラム2	スプラッシュシンバル	シンセタムロー	シンセタムミッド	シンセタムハイ



パッドのセットの変更には、ナンバー [1] ~ [0] , [ + ] , [ - ] ボタンは使用できません。

サウンドエフェクトの中には、パッドを押している間、鳴り続けるものがあります。

サウンドエフェクトボタン/ドラムボタンを押した後、約2秒間何の操作もしないと、マルチディスプレイは自動的にボイスナンバー/スタイルナンバー/ソングナンバー表示のいずれかに戻ります。

複数のパッドを同時に使用することができますが、パッド以外のボタンを同時に押し続けていると、パッドは発音しない場合があります。

PSR-180/76の最大同時発音数は12です。12音を越えると、ある音が途中で消えたり、パッドが鳴らなくなったりする場合があります。

この楽譜はPDF上では表示されません。

この楽譜はPDF上では表示されません。

この楽譜はPDF上では表示されません。

この楽譜はPDF上では表示されません。

この楽譜はPDF上では表示されません。

この楽譜はPDF上では表示されません。

この楽譜はPDF上では表示されません。



この楽譜はPDF上では表示されません。

# デモ曲（ソング）楽譜集

（V=ボイスナンバー）

この楽譜はPDF上では表示されません。

この楽譜はPDF上では表示されません。

# ワンタッチセッティングリスト

ワンタッチセッティングボタンを押すと、以下のボイスとテンポが自動的に選ばれます。

## スタイル

スタイルナンバー / スタイル名	ボイスナンバー / ボイス名	テンポ	スタイルナンバー / スタイル名	ボイスナンバー / ボイス名	テンポ
<b>ポップ</b>					
01 8ビートポップ	32 シンセプラス	152	51 ボサノバ	09 ジャズギター	160
02 デトロイトポップ	33 シンセリード	188	52 ポップボサ	31 ハーモニカ	140
03 16ビートポップ	42 コーラスエレビ	104	53 スローボサ	19 ビブラフォン	120
04 ポップロック	56 ファンタジー2	200	54 マンボ	22 トロンボーン	148
05 ポップシャッフル	50 エレビパッド	120	55 ルンバ	26 フルード	128
06 フォークロック	52 フォークギターパッド	92	56 タンゴ	07 アコーデオンの	124
07 ポップバラード	01 ピアノ	92	57 サルサ	82 トランペットデュエット	104
08 8ビートライト	26 フルード	92	58 ビギン	22 トロンボーン	88
09 16ビートバラード	19 ビブラフォン	80	59 ラテンロック	81 マリンバトリオ	68
10 6/8ロック	05 エレクトリックオルガン	68	<b>カリビアン</b>		
<b>ダンス</b>					
11 ハウス1	50 エレビパッド	112	60 スカ	22 トロンボーン	160
12 ハウス2	53 ジャズギターパッド	116	61 ソカ	05 エレクトリックオルガン	124
13 ヒップホップ	55 ファンタジー1	112	62 レゲエ	24 プラスアンサンブル	136
14 ダンスシャッフル1	51 エレビとビブラフォン	112	63 カリブソ	20 マリンバ	112
15 ダンスシャッフル2	52 フォークギターパッド	112	<b>ジャズ</b>		
16 グランドビート1	49 ピアノとビブラフォン	96	64 ラグタイム	82 トランペットデュエット	200
17 グランドビート2	24 プラスアンサンブル	104	65 デキシード	22 トロンボーン	116
18 ラップ	18 オーケストラヒット	116	66 ビッグバンド	81 マリンバトリオ	152
19 ダンスファンク	04 クラビ	112	67 ビッグバンドバラード	72 ビブラフォンサステイン	84
20 ディスコ	30 パンフルード	108	68 ジャズバラード	26 フルード	96
21 ディスコソウル	50 エレビパッド	140	69 スイング	72 ビブラフォンサステイン	152
22 ディスコポップ	32 シンセプラス	120	70 スイングワルツ	21 トランペット	104
23 ユーロビート	54 プラスアンサンブルデュアル	120	71 ビバップ	29 テナーサクソ	208
<b>リズム&amp;ブルース</b>			72 モダンジャズ	80 ビブラフォンブロック	140
24 リズム&ブルース1	50 エレビパッド	128	73 ジャズサンバ	26 フルード	140
25 リズム&ブルース2	82 トランペットデュエット	120	74 ジャズラテン	33 シンセリード	128
26 リズム&ブルースバラード	31 ハーモニカ	96	75 ジャズボサ	84 フルードデュエット	112
27 ファンク	22 トロンボーン	120	76 フュージョン	33 シンセリード	120
28 ソウルバラード1	42 コーラスエレビ	88	77 フュージョンシャッフル	49 ピアノとビブラフォン	100
29 ソウルバラード2	19 ビブラフォン	84	78 ジャズワルツ1	50 エレビパッド	192
30 ゴスペル1	05 エレクトリックオルガン	104	79 ジャズワルツ2	31 ハーモニカ	120
31 ゴスペル2	05 エレクトリックオルガン	104	<b>カントリー</b>		
32 6/8ブルース	29 テナーサクソ	92	80 ブルーグラス	07 アコーデオンの	112
<b>ロック</b>			81 カントリー	74 ピアノカントリー	120
33 ツイスト	73 ピアノブロック	152	82 カントリーロック	05 エレクトリックオルガン	132
34 ロックンロール	05 エレクトリックオルガン	144	83 カントリーシャッフル	78 バイオリンカントリー	120
35 ハードロック	44 12弦ギター	140	84 カントリーバラード	31 ハーモニカ	76
36 ヘビーメタル	13 ディストーションギター	120	85 カントリーワルツ	80 ビブラフォンブロック	88
37 8ビートロック	52 フォークギターパッド	116	<b>ボールルーム</b>		
38 8ビートソフト	30 パンフルード	128	86 フォックストロット	09 ジャズギター	204
39 ロックポップ	42 コーラスエレビ	120	87 ジャイブ	11 エレクトリックギター	176
40 ロッククラシック	68 ピアノサステイン	120	88 スローフォックス	27 クラリネット	116
41 ロックバラード	05 エレクトリックオルガン	88	89 パソドブレ	14 バイオリン	132
42 ロカビリー	29 テナーサクソ	176	90 ウィンナワルツ	17 スtringス	200
43 ブギウギ	41 ホンキートンクピアノ	136	<b>その他</b>		
44 ロックブギ	77 オルガントリオ	156	91 ショーチューン	73 ピアノブロック	144
45 ロックシャッフル	24 プラスアンサンブル	136	92 演歌	29 テナーサクソ	120
46 ロッカバラード	22 トロンボーン	88	93 マーチ1	82 トランペットデュエット	112
<b>ラテン</b>			94 マーチ2	25 ピッコロ	124
47 メレンゲ	21 トランペット	148	95 ボルカ1	07 アコーデオンの	120
48 サンバ	19 ビブラフォン	108	96 ボルカ2	27 クラリネット	128
49 チャチャ	54 プラスアンサンブルデュアル	152	97 ボレロ	83 ホルンデュエット	72
50 モダンチャチャ	22 トロンボーン	176	98 ワルツ1	55 ファンタジー1	180
			99 ワルツ2	17 Stringス	148
			100 ニューエイジ	48 ピアノパッド	84

## ジャムトラック

ジャムトラックナンバー / ジャムトラック名	ボイスナンバー / ボイス名	テンポ	ジャムトラックナンバー / ジャムトラック名	ボイスナンバー / ボイス名	テンポ
21 ダンス	48 ピアノパッド	120	31 ジャズブルース	66 ピアノ / ビブラフォン	160
22 ラップ	18 オーケストラヒット	116	32 ジャズワルツ	29 テナーサクソ	192
23 ファンク	49 ピアノとビブラフォン	92	33 フュージョン	42 コーラスエレビ	128
24 ソウルバラード	29 テナーサクソ	104	34 ボサノバ	26 フルード	160
25 マイナーブルース	01 ピアノ	144	35 サンバ	82 トランペットデュエット	112
26 ヘビーメタル	13 ディストーションギター	120	36 タンゴ	07 アコーデオンの	124
27 ブギウギ	01 ピアノ	136	37 スカ	22 トロンボーン	160
28 ロックンロール	05 エレクトリックオルガン	144	38 カントリー	78 バイオリンカントリー	120
29 リズム&ブルース	54 プラスアンサンブルデュアル	136	39 マーチ	21 トランペット	116
30 スローロック	50 エレビパッド	88	40 ニューエイジ	50 エレビパッド	84

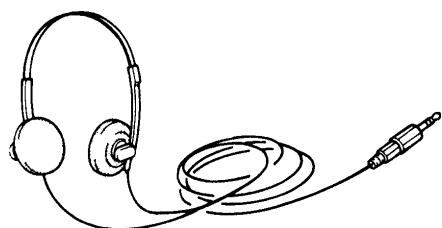
ジャムトラックのコード進行に従って、途中でボイスが変わる場合があります。

現象	原因	解決方法
電源 入/切ボタンを押した時に、ポツンという音をする。	本体に電流が流れるためです。	故障ではありません。
音が歪んだり、突然出なくなったりする。	電池が消耗しています。	電池を交換してください。
同時に押さえた鍵盤の音が全部鳴らない。	同時に鍵盤を押さえ過ぎです。	PSR-180/76の最大同時発音数は12です。自動伴奏やパッド演奏なども含めて最大12音の範囲で鳴らすことができます。(7、15ページ参照)
押さえる鍵盤によって音質や音量が異なる。	ボイスの中には、よりリアルな楽器表現を可能にするために、いくつかの鍵域に分けて楽器音をサンプリングするマルチサンプリングという方法で作られたものがあります。それらのボイスは、音域によって音質や音量が若干異なる場合があります。	故障ではありません。
電源が入らない。	続けて電源 入/切ボタンを押すと、電源が入らない場合があります。	電源を切った後は、約2秒ほどたってから、電源 入/切ボタンを押してください。

## オプション（別売）商品のご紹介

### ヘッドフォン

HPE-150 ¥4,000  
HPE-3 ¥3,000



### キーボードスタンド

L-2C ¥6,000



商品の金額には、消費税は含まれておりません。

# PSR-180/76仕様

	PSR-180	PSR-76
キーボード	レギュラーサイズ61鍵 (C1~C6)	レギュラーサイズ49鍵 (C1~C5)
ボイス	AWM100音色 (最大同時発音数12)	
スタイル	100スタイル	
オートアカンパニメント		
フィンガリング	マルチフィンガリング	
パッド (ドラム) (サウンドエフェクト)	4×4音色 4×4音色	- -
ソング (マイナスイワン機能付)	デモ曲 : 20 ジャムトラック : 20	
コントロール	電源入/切ボタン、ボイス/スタイル/ソングボタン、ナンバー [1] ~ [0], [ + ], [ - ] ボタン、テンポ [ + ], [ - ] ボタン、マイナスイワンボタン、スタート/ストップボタン、ワンタッチセッティングボタン、シンクロスタート/フィルインボタン、音量コントロール、パッド×4 (PSR-180)、サウンドエフェクトボタン (PSR-180)、ドラムボタン (PSR-180)	
リアパネル端子	電源アダプター端子、ヘッドフォン/外部出力端子	
アンプ実用 最大出力	(電源アダプター使用時) 4.5W+4.5W (EIAJ) (乾電池使用時) 8W+8W (EIAJ)	3.8W (EIAJ) 3.8W (EIAJ)
スピーカー	10cm × 2 4Ω	10cm × 2 4Ω
定格電源	DC 10-12V : 単1乾電池 (1.5V) × 6、電源アダプターPA-3	
電池持続時間 (マンガン電池使用時)	約14時間 (連続デモ演奏時、ボリューム約70%)	約45時間 (連続デモ演奏時、ボリューム約70%)
消費電力 (電源アダプターPA-3使用時)	10.4W	9.0W
寸法 (幅 × 奥 × 高mm)	931 × 347 × 137	964 × 287 × 113
重量 (kg)	4.3	3.6
付属品	電源アダプターPA-3、譜面立て	
オプション (別売) 商品	ヘッドフォンHPE-3/150、キーボードスタンドL-2C、ソフトケースSCC-11 (PSR-76)/SCC-32 (PSR-180)/SCC-34 (PSR-180)	

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更する場合があります。

# 保証とサービスについて

本機の保証期間は、保証書により、ご購入から満1カ年です。（国内のみ有効）なお、現金・クレジットなど支払い方法による保証の区別はいたしません。

保証期間の1カ年を過ぎましても、有償にて責任をもってサービスを実施いたします。なお、補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の点は、お買い上げ店、または、下記のサービス拠点までお問い合わせください。

## お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にご持参ください。責任をもって修理調整いたします。

## サービスのご依頼

ご使用中に"故障ではないか"と思われましたら、まず本書の「こんなときは・・・」の項をお読みいただき、ご確認ください。（ご依頼をお受けして点検いたしますと、故障でない場合でも点検代を申し受けることもございます。）なお、サービスをご依頼される時は、お名前、ご住所、電話番号などを正確にお知らせください。また、お勤めなどでご不在がちの方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡先をお知らせください。（楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたい時や、万が一やむをえない事情によってお約束を変更しなければならないような時に、お客様にご迷惑をおかけしないですみま

す。）

## ヤマハ電気音響製品サービス拠点

（修理受付および修理品お持ち込み窓口）

北海道サービスセンター 〒064	札幌市中央区南十条西1丁目1-50（ヤマハセンター内）	TEL. 011-513-5036
仙台サービスセンター 〒983	仙台市若林区卸町5-7（仙台卸商共同配送センター3F）	TEL. 022-236-0249
首都圏サービスセンター 〒211	川崎市中原区木月1184	TEL. 044-434-3100
東京サービスステーション* 〒108	東京都港区高輪2-17-11	TEL. 03-5488-6625
（*修理品お持ち込み窓口）		
浜松サービスセンター 〒435	浜松市上西町911（ヤマハ（株）宮竹工場内）	TEL. 053-465-6711
名古屋サービスセンター 〒454	名古屋市中川区玉川町2-1-2 （ヤマハ（株）名古屋流通センター3F）	TEL. 052-652-2230
大阪サービスセンター 〒565	吹田市新芦屋下1-16（ヤマハ（株）千里丘センター内）	TEL. 06-877-5262
四国サービスセンター 〒760	高松市丸亀町8-7（ヤマハ（株）高松店内）	TEL. 0878-22-3045
広島サービスセンター 〒731-01	広島市安佐南区西原6-14-14	TEL. 082-874-3787
九州サービスセンター 〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL. 092-472-2134
本社カスタマーサービス部	〒435 浜松市上西町911（ヤマハ（株）宮竹工場内）	TEL. 053-465-1158

## 各支店営業課リスト

北海道支店 LM営業課 〒064	札幌市中央区南十条西1丁目1-50 ヤマハセンター	TEL. 011-512-6113
仙台支店 LM営業課 〒980	仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命仙台青葉通ビル	TEL. 022-222-6147
東京支店 特販営業課 〒108	東京都港区高輪2-17-11	TEL. 03-5488-5475
関東支店 LM営業課 〒108	東京都港区高輪2-17-11	TEL. 03-5488-1688
名古屋支店 LM営業課 〒460	名古屋市中区錦1-18-28	TEL. 052-201-5199
大阪支店 特販営業課 〒542	大阪市中央区南船場3-12-9 心齋橋プラザビル東館	TEL. 06-252-7491
広島支店 LM営業課 〒730	広島市中区紙屋町1-1-18	TEL. 082-244-3749
九州支店 LM営業課 〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL. 092-472-2130
特販営業部 〒108	東京都港区高輪2-17-11	TEL. 03-5488-6641
ポータブル楽器営業課		

住所および電話番号は変更になる場合があります。

**YAMAHA**  
YAMAHA CORPORATION

**ヤマハ株式会社**

M.D.G., EMI Division  
© Yamaha Corporation 1994

VR97680

Printed in China